

平成30年度宇都宮市地産地消推進会議 次第

日時：平成30年4月26日（木）

午後2時～

場所：ホテル丸治 7階 竹梅

- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 会議録署名委員の指名
- 4 議事
 - ・ 議案第1号 平成29年度事業報告及び収支決算について
 - ・ 議案第2号 平成30年度事業計画及び収支予算について
 - ・ 議案第3号 地産地消推進会議運営要領一部改正について
- 5 その他
 - ・ 宇都宮市地産地消推進計画の改定について
- 6 閉会

宇都宮市地産地消推進会議委員名簿

役職	No	氏名	職業等	任期	備考
第1号委員 (市議会議員)	1	くろこ ひであき 黒子 英明	市議会議員	平成29年6月12日～ 平成31年6月11日	
	2	ふくだ くみこ 福田 久美子	市議会議員	〃	
第2号委員 (学識経験者)	3	こばやし かずなり 小林 一成	栃木県河内農業振興事務所 所長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日	新任
	4	しが とおる 志賀 徹	宇都宮大学 名誉教授	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	会長
第3号委員 (関係団体の代表)	5	いしはら のりお 石原 典男	宇都宮農業協同組合 常務	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日	副会長 新任
	6	うえの としみつ 上野 敏光	河宇ファーマーズショップ連絡会 会長	〃	新任
	7	かねえだ ゆうこ 金枝 右子	宇都宮市消費者友の会 会長	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	
	8	やまぐち かずこ 山口 和子	宇都宮市農村生活研究グループ協議会 会長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日	新任
	9	おだばやし とくじ 小田林 徳次	宇都宮市園芸振興連絡協議会 代表	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	
	10	たのべ だいすけ 田野邊 大介	東一字都宮青果株式会社 代表取締役社長	〃	
	11	たむら けんいち 田村 健一	栃木県飲食業生活衛生同業組合 宇都宮大衆支部 支部長	〃	
	12	たなはし ひろなお 店橋 宏尚	公益社団法人 宇都宮青年会議所 常任理事	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日	新任
	13	ますぶち さちこ 増渕 祥子	宇都宮市食生活改善推進連絡協議会 会長	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	
	14	さとう かなめ 佐藤 要	宇都宮市PTA連合会 常任理事	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日	新任
	15	まつもと ゆずる 松本 謙	株式会社ファーマーズ・フォレスト 代表取締役社長	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日	
	16	ほしの やすお 星野 安男	宇都宮青果商業協同組合 理事長	〃	
17	いちかわ ゆうじ 市川 裕二	株式会社東武宇都宮百貨店 食品・レストラン部 部長	平成30年4月1日～ 平成31年3月31日	新任	
18	わかばやし ふみお 若林 二三夫	株式会社オータニ 執行役員商品部部長	平成29年4月1日～ 平成31年3月31日		

宇都宮市地産地消推進会議 事務局名簿

役職	氏名	所属
事務局長	大島 誠司	農林生産流通課 課長
事務局次長	大家 哲	農林生産流通課 課長補佐 森林整備・鳥獣対策グループ係長兼務
事務局	大島 健一	農林生産流通課 農産物マーケティンググループ係長
	田邊 雅士	農林生産流通課 生産振興グループ係長
	石川 恵美	農林生産流通課 農産物マーケティンググループ総括
	伊東 健太郎	農林生産流通課 生産振興グループ
	河野 勝	農林生産流通課 農産物マーケティンググループ
	手塚 睦	農林生産流通課 農産物マーケティンググループ
	田崎 里佳	農林生産流通課 農産物マーケティンググループ
コーディネーター	上邑 芳和	(一社) 栃木県中小企業診断士会 中小企業診断士

議案第 1 号 平成 29 年度事業報告及び収支決算について

平成 29 年度事業報告及び収支決算について、運営要領第 5 条第 1 項第 1 号及び第 2 号の規定に基づき、次のとおり議決を求めます。

平成 30 年 4 月 26 日

I 平成29年度事業報告

1 事業方針

「第2次宇都宮市地産地消推進計画」に基づき、地産地消を推進するため、地場農産物の生産振興と消費拡大、安全・安心な地場農産物の供給や食育を推進する事業を展開した。

2 事業の概要

(1) 普及啓発事業

実施日	人数等	内 容	場所等
H29.5.21	来場者 約 60,000 人	「フェスタ my 宇都宮 2017」における「マルシェ in フェスタ」への出展 地場農産物や加工品の販売 ◆出展店舗 ・地産地消推進店直売所（2店舗） ・アグリビジネス創出事業プロジェクト開発商品のテスト販売（2事業者） ◆農業王国うつのみやPRコーナー	宇都宮 城址公 園
H29.10.1	来場者 約 3,000 人	「うつのみやマルシェ」出展 ◆東武宇都宮百貨店内の地産地消推進店による地場農産物販売 ◆生産者による新米（宇都宮ブリッツェン米，逆面地区ふくろう米）の販売・試食 ◆地産地消推進店（飲食店）による冷凍餃子の試食・販売 ◆農業王国うつのみやPRコーナー アグリネットワーク開発商品・なつおとめの試食 その他PR	東武宇 都宮百 貨店6 階屋上



H29.10.14	来場者 約 2,000 人	<p>うつのみや地産地消マルシェ</p> <p>◆宇都宮市産農産物等の販売・試食，子ども向け農業王国うつのみやクイズ等のイベント</p> <p>※29.9.15～10.31 南図書館展示スペースにて地産地消パネル展</p>  <p>◆うつのみやアグリファンクラブミーティングを開催</p>	南図書館
H29.11.1	市内全域	<p>広報うつのみや 1 月号への特集記事の掲載</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">資料 1 参照</div>	
H29.11.1 ～11.30	地産地消強化月間	<p>地産地消強化月間パネルディスプレイ展示</p> 	市役所 1 階
H29.11.18 ～19	来場者 約 30,000 人	<p>宇都宮市農林業祭</p> <p>① のぼり旗設置・啓発資料配布等による P R</p> <p>② アグリビジネス創出事業プロジェクト事業者による開発商品の販売とテストマーケティング（1 事業者）</p>	ろまん ちつく 村
H30.3.10	来場者 約 2,000 人	<p>第 2 回うつのみや地産地消マルシェ</p> <p>◆宇都宮市産農産物等の販売・試食，子ども向け農業王国うつのみやクイズ等のイベント</p> <p>※30.2.1～3.27 南図書館展示スペースにて地産地消パネル展</p>	南図書館

(2) 地場農産物利用促進事業

実施日	人数等	内 容	場所等																								
通 年		<p>うつのみや地産地消推進店認定</p> <p>地場農産物利用促進に係るキャンペーンやフェアの開催にあたり、新規となる市内小売店及び宿泊施設等に案内し、キャンペーンへの参加とともに、推進店への加入を促進した。</p> <p>◆平成 29 年度認定件数</p> <p>新規 18 件</p> <p>更新 15 件</p> <p>◆推進店数 前年度比</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>平成 28 年度</th> <th>平成 29 年度</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>直売所</td> <td>10 店舗</td> <td>10 店舗</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小売・量販店</td> <td>46 店舗</td> <td>60 店舗</td> <td>+14</td> </tr> <tr> <td>飲食業・宿泊施設</td> <td>73 店舗</td> <td>65 店舗</td> <td>-8</td> </tr> <tr> <td>食品加工事業者</td> <td>1 店舗</td> <td>1 店舗</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>130 店舗</td> <td>136 店舗</td> <td>+6</td> </tr> </tbody> </table>	区分	平成 28 年度	平成 29 年度	増減	直売所	10 店舗	10 店舗		小売・量販店	46 店舗	60 店舗	+14	飲食業・宿泊施設	73 店舗	65 店舗	-8	食品加工事業者	1 店舗	1 店舗		合計	130 店舗	136 店舗	+6	
区分	平成 28 年度	平成 29 年度	増減																								
直売所	10 店舗	10 店舗																									
小売・量販店	46 店舗	60 店舗	+14																								
飲食業・宿泊施設	73 店舗	65 店舗	-8																								
食品加工事業者	1 店舗	1 店舗																									
合計	130 店舗	136 店舗	+6																								
通 年		<p>地場農産物・販売店等マッチング事業の実施</p> <p>◆農産物マッチングコーディネーターを任用しアグリネットワークなど関係機関と連携して農業者及び実需者情報の収集・整理・分析をはかり、適切なパートナーとのマッチングを実施</p> <p>⇒マッチングが成立し取引開始した件数 2 件 (※)</p> <p>引き続き商談中の件数 2 件</p> <p>※いちご農家と和菓子店</p> <p>なし農家とパン屋</p>																									
H29.9.25 ～11.30	応募総数 4,616 通	<p>「採れたて うつのみや まるかじりキャンペーン」の実施</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">資料 2 参照</div> <p>◆内容</p> <p>①実施店舗 地産地消推進店である直売所・小売店 41 店舗</p> <p>②集計結果 使用シール枚数：885, 166 枚 応募総数：4, 616 通</p>	ヨークベニマル, ろまんちつく村あおぞら館など																								

<p>H29. 8. 1 ～10. 31</p>	<p>応募総数 239 件</p>	<p>地産地消推進店（宿泊施設）における地産地消朝食フェアの実施</p> <p>◆内容 デスティネーション（DC）における宇都宮市産農産物の利用及び消費促進を図るため、試験的取組として、うつのみや地産地消推進店（宿泊施設）にて、宇都宮市産農産物を使用した地産地消朝食メニューを提供 ⇒ 8 店舗が参加</p> 	
<p>H30. 2. 23 ～3. 18</p>	<p>応募総数 774 通</p>	<p>うつのみや地産地消推進店の飲食店を活用した「みやのとれたて 地産地消フェア」の実施</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">資料 3 参照</div> <p>◆実施内容</p> <p>①みやのとれたて 地産地消フェア（H30. 2. 23～3. 18） 地産地消推進店において、宇都宮市産農産物を 3 品目以上使用した地産地消メニューを各店舗で提供。フェアに合わせて、抽選で宇都宮市産農産物が当たるスタンプラリーを実施。 ⇒ 2 6 店舗が参加</p> <p>②地産地消推進モニターによる店舗 P R 上記フェア中、5 名のモニターが SNS 投稿による店舗 P R を実施</p>	
<p>随時</p>		<p>農産物直売所イメージアップ事業</p> <p>◆梵天の湯 のぼり購入費補助</p> <p>◆ろまんちっく村あおぞら館 販売台購入費補助</p>	

(3) 安全・安心な農産物供給事業

実施日	人数等	内 容	場所等
29. 4. 16 ～26 29. 9. 21 ～9. 27		農産物直売所巡回指導 ・ 県河内農業振興事務所と連携し、モニタリング検査未 完了品目についての確認と生産履歴記帳についての指 導 ◆ 市内直売所（25か所）実施	市内直 売所
30. 3. 9	参加者 農業者 16 名	県河内農業振興事務所・JA うつのみやとの共催で、農 産物直売所等の食の安全・安心対策及び魅力向上対策研 修会の開催 ◆ 概要 「農薬の安全使用について」 講師：県河内農業振興事務所 主査 大谷 晴美氏 「売上アップにつながる手書きチラシ」 講師：株式会社みやもと 代表取締役社長 宮本 誠氏	栃木県 河内庁 舎

3 総括

「採れたて うつのみや まるかじりキャンペーン」や「地産地消フェア」に加え、観光客をターゲットとしたプレデスティネーションキャンペーンでの「朝食フェア」や、親子で訪れる人の多い南図書館での「マルシェ」等の実施を通し、消費者の地産地消に関する意識向上や消費拡大、さらには、事業者の地産地消推進への意欲の向上に取り組んだ。

今後も、地産地消推進のきっかけづくりを進めていく中で、デスティネーションキャンペーンの機会の活用や、事業者との共同事業等、消費者・生産者・事業者の声を生かしながら、事業者等と連携し、対象者に応じたより効果的な手法で、地産地消を推進していくことが必要である。

Ⅱ 平成29年度収支決算

1 収入の部

(単位:円)

科 目		予算額	決算額	比較増減	備 考
款	項 目				
1 交付金		6,491,000	6,491,000	0	
	(1) 交付金	6,491,000	6,491,000	0	宇都宮市
2 助成金		1,500,000	1,500,000	0	
	(1) 団体助成金	1,500,000	1,500,000	0	宇都宮農業協同組合
3 繰越金		27,248	27,248	0	
	(1) 繰越金	27,248	27,248	0	前年度繰越金
4 雑収入		752	45	△ 707	
	(1) 雑収入	752	45	△ 707	利息
合 計		8,019,000	8,018,293	△ 707	

2 支出の部

(単位:円)

科 目		予算額	決算額	比較増減	備 考
款	項 目				
1 事務費		128,000	236,442	108,442	
	(1)会議費	78,000	95,412	17,412	
	(2)事務費	50,000	141,030	91,030	事務用品ほか
2 事業推進費		7,891,000	7,744,448	△ 146,552	
	(1)普及啓発活動費	1,037,000	54,142	△ 982,858	イベント出展費用, 啓発物品代ほか
	(2)地場農産物利用促進費	6,710,000	7,628,611	918,611	地産地消推進店認定・マップ作成費用, 「採れたて うつのみや まるかじりキャンペーン」実施費用, 地産地消推進店加入促進・推進店を活用したフェア実施費用ほか
	(3)安全・安心な農産物供給事業費	74,000	33,480	△ 40,520	生産者向け安全・安心対策研修会費用ほか
	(4)食育の推進・食文化継承事業費	70,000	28,215	△ 41,785	食育フェア出展費用ほか
合 計		8,019,000	7,980,890	△ 38,110	

収入決算額 8,018,293 円

支出決算額 7,980,890 円

差引残高 37,403 円

残額は次年度へ繰越

監 査 報 告

平成29年度宇都宮市地産地消推進会議の事業執行及び会計について、
関係書類及び帳簿等を監査した結果、事業の執行状況及び会計等すべて適正
であったことを認めます。

平成30年 4月25日

監 事 小田林 徳 次 ⑩

監 事 倉 持 基 ⑩

(本報告は原本と相違ありません。)

議案第2号 平成30年度 事業計画及び収支予算について

平成30年度事業計画及び収支予算について、運営要領第5条第1項第1号及び第2号の規定に基づき、次のとおり議決を求めます。

平成30年4月26日

I 平成30年度事業計画

1 事業方針

「第2次宇都宮市地産地消推進計画」に基づき、地産地消をさらに推進するため、地場農産物の生産振興と消費拡大、安全・安心な地場農産物の供給や食育を推進する事業を展開していく。

2 事業内容

(1) 普及啓発活動

① 地場農産物の紹介

- ・ 市内の各種イベントにおける地場農産物PR

② 地産地消強化月間（11月）における啓発活動

- ・ 市庁舎内でのパネル展示やパンフレット配布等による意識啓発
- ・ 広報紙の他、新聞・ラジオなど、様々な媒体による普及啓発活動

③ 多様な広報媒体を活用した啓発活動

- ・ ホームページ「農業王国うつのみや」、SNS、アグリファンクラブ会員向けメールマガジン等の活用による効率的な情報発信

(2) 地場農産物利用促進

① うつのみや地産地消推進店の増加・充実など消費者が利用しやすい環境の創出

- ・ 市民はもちろん、デスティネーションキャンペーン（DC）などの観光需要にも対応できるよう地産地消推進店の増加・充実
- ・ 地産地消マップの作成・配布や、ホームページ「農業王国うつのみや」の活用による推進店の認知度向上
- ・ 地産地消推進店のPR活動として、アグリファンクラブ会員等を中心に、市民によるSNS等への情報発信

② 「採れたて うつのみや まるかじりキャンペーン」の実施

- ・ 積極的な宇都宮市産農産物の購入促進を図るため、農産物直売所・小売店・量販店の地産地消推進店において秋季（推進月間を中心）に実施

③ 「地産地消推進店マルシェ」等の開催

- ・ アグリファンクラブ会員も含め、市民の地産地消推進店利用促進、また店舗の地産地消推進店の認知度向上を図るため、地産地消マルシェを開催
- ・ 農産物直売所・小売店・量販店の地産地消推進店が合同で「地産地消推進店マルシェ」を開催

④ DCにおける農産物消費拡大事業【新規】

- ・ 4～6月のDC期間において、地産地消推進店の宿泊施設を対象に、地場農産物を活用したメニューを提供する朝食フェアを実施

- ・ カクテル倶楽部加盟店にて、宇都宮市産農産物を使用したカクテルの提供とPRを実施
- ・ DC関連事業をPRし、本市への来訪を促進させるため、るるぶキッチン（赤坂）において宇都宮市産農産物を使った料理の提供や地産地消推進店のPR等を実施

⑤ 直売所機能充実による消費者の利便性向上

- ・ 施設の簡易な改修や農産物情報提供のために要する費用等の一部を助成して農産物直売所のイメージアップを図る農産物直売所イメージアップ事業の実施

⑥ 生産者と実需者とのマッチングによる地場農産物の利用促進

- ・ 市内農業者と実需者とのビジネスマッチングを図ることで、宇都宮市産農産物の販路拡大や、生産規模の拡大を目指すとともに、市内における宇都宮市産農産物の使用割合を拡大し、地産地消を推進するための地場農産物・販売店等マッチング事業を実施

(3) 安全・安心な地場農産物等の供給

① 農産物の安全に関する研修会の開催

- ・ 県河内農業振興事務所、宇都宮農業協同組合、河宇ファーマーズショップ連絡会と連携し生産者に対する農産物の安全・安心に関する研修会を実施

② 県河内農業振興事務所と連携し農産物直売所での生産者への生産履歴記帳等の確認・指導や、県の農産物放射性物質検査への協力

③ ホームページを利用し安全・安心に関する情報を発信

◆主な年間スケジュール

時期	内容
4～6月	地産地消推進店の宿泊施設で朝食フェア
5～6月	地産地消推進店の増加・充実に向けた新規加入店勧誘
6月	るるぶキッチン（赤坂）におけるPR事業
6～8月	カクテル倶楽部加盟店にて宇都宮市産農産物を使ったカクテルの提供
9～11月	採れたて うつのみや まるかじりキャンペーン
9～11月	地産地消マルシェ
11月	地産地消推進月間における啓発活動
11月	宇都宮市農林業祭における宇都宮市産農産物PR
12～1月	飲食店を活用した地産地消フェア
3月	農産物の安全に関する研修会の開催
3月	地産地消マップ作成

Ⅱ 平成30年度収支予算

1 収入の部

(単位:円)

科 目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	備 考
款	項 目				
1 交付金		8,787,000	6,491,000	2,296,000	
	(1) 交付金	8,787,000	6,491,000	2,296,000	宇都宮市
2 助成金		1,545,000	1,500,000	45,000	
	(1) 団体助成金	1,545,000	1,500,000	45,000	宇都宮農業協同組合
3 繰越金		37,403	27,248	10,155	
	(1) 繰越金	37,403	27,248	10,155	前年度繰越金
4 雑収入		597	752	△ 155	
	(1) 雑収入	597	752	△ 155	利息等
合 計		10,370,000	8,019,000	2,351,000	

2 支出の部

(単位:円)

科 目		本年度 予算額	前年度 予算額	比較増減	備 考
款	項 目				
1 事務費		238,000	128,000	110,000	
	(1) 会議費	88,000	78,000	10,000	
	(2) 事務費	150,000	50,000	100,000	事務用品ほか
2 事業推進費		10,132,000	7,891,000	2,241,000	
	(1) 普及啓発活動費	603,000	1,037,000	△ 434,000	イベント出展費用, 啓発用物品ほか
	(2) 地場農産物利用促進費	9,455,000	6,710,000	2,745,000	米・畜産物・DCにおける農産物消費拡大事業, 地産地消推進店マルシェ開催, 地産地消推進店認定・マップ作成費用, 「採れたてうつのみや まるかじりキャンペーン」実施費用ほか
	(3) 安全・安心な農産物供給事業費	74,000	74,000	0	生産者向け安全・安心対策研修会費用 ほか
	(4) 食育の推進・食文化継承事業費	0	70,000	△ 70,000	
合 計		10,370,000	8,019,000	2,351,000	

議案第3号 宇都宮市地産地消推進会議運営要領の一部改正について

規則第7条に基づき、次のとおり議決を求めます。

平成30年4月26日

改正の理由

監事の任期が満了した場合において、後任の監事が任命されるまでの監事の職務について規定しようとするもの

新 旧 対 象 表

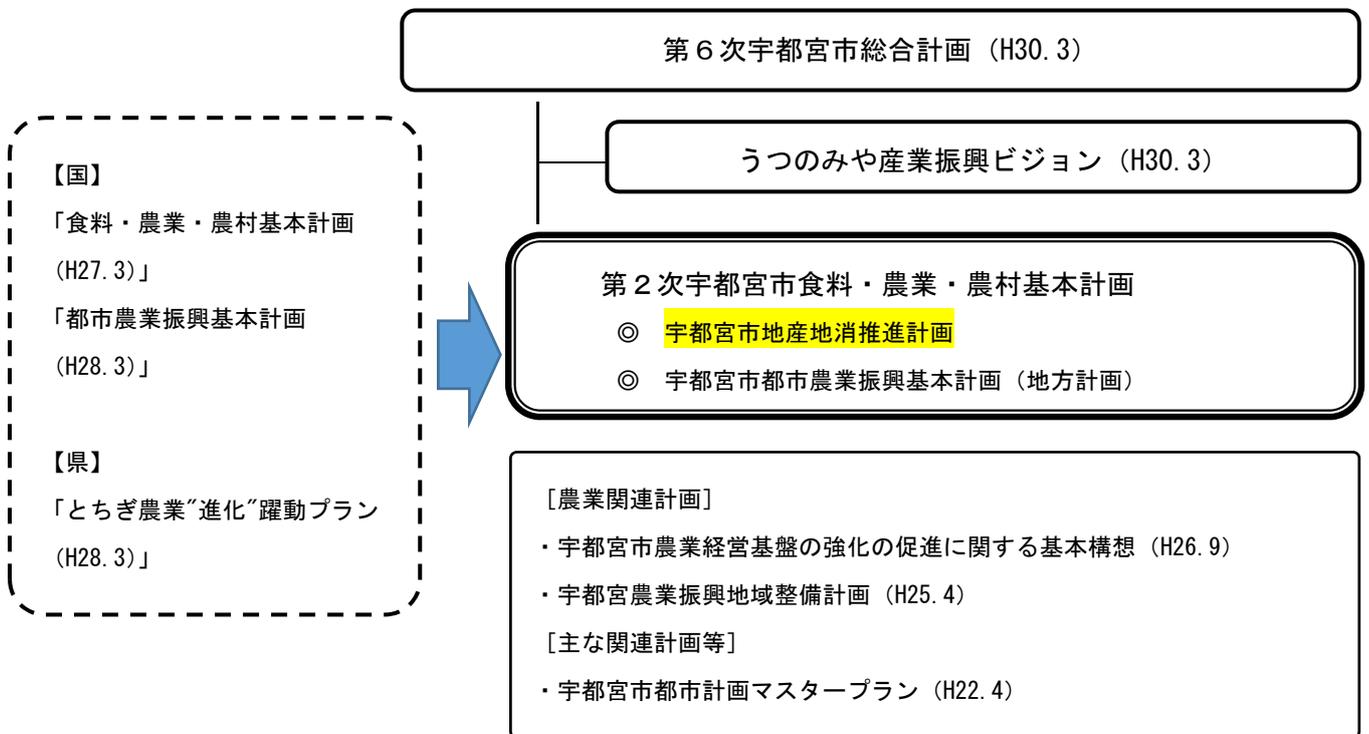
新（改正案）	旧（現行）
<p>(監事)</p> <p>第4条 推進会議に監事2名を置き、推進会議の会計を監査する。</p> <p>2 監事は、委員の互選によって定める。</p> <p>3 監事は、任期が満了した場合においては、<u>後任の監事が任命されるまでその職務を行う。</u></p> <p>附 則</p> <p><u>この要領は、平成30年4月26日から施行する。</u></p>	<p>(監事)</p> <p>第4条 推進会議に監事2名を置き、推進会議の会計を監査する。</p> <p>2 監事は、委員の互選によって定める。</p>

宇都宮市地産地消推進計画改定について

1 計画の位置付け

地産地消の推進に関する条例第18条において、地産地消推進計画を策定することを定めており、現行の第2次宇都宮市地産地消推進計画は計画期間を平成26年～平成30年度とし、平成30年度が最終年度となることから、今年度は地産地消推進計画を見直すことになる。

なお、本市の農業の基本計画となる「第2次宇都宮市食料・農業・農村基本計画」に地産地消に関する内容が盛り込まれていることから、今回の改定は、「宇都宮市第2次宇都宮市食料・農業・農村基本計画」を本市の地産地消推進計画として位置付けるものとする。



2 今後のスケジュール (予定)

- 6月頃 地産地消推進会議公募委員募集
- 7月頃 地産地消推進会議 (現行計画の評価等)
- 12月頃 地産地消推進会議 (計画素案作成等)